

# 子どもの広場

## 【校内マラソン大会】



10月24日から11月7日まで、マラソン週間でした。昼休憩には、運動委員会が中心となってランニングタイムを行い、熱心に練習に取り組む児童もたくさんいました。本番は、広い大学グラウンドを1・2年生が1000m、3・4年生が1500m、5・6年生が2000mを走り、みんな自分のペースをタイムを出さうと一生懸命最後まで走り抜きました。満足そうな顔、どきどきの顔、どの顔も頼もしく感じました。また、お互いの走り応援し合う姿、健闘を讃え合う姿、温かい気持ちになりました。

## 【福祉体験学習】



4年生は、豊学校先生をお招きして難聴擬似体験等を行いました。福祉人材研修センターに出かけて、バリアフリーの施設内を重なる回ったりするなどの活動を通

どもたちは、相手の立場になって考えることの大切さを感じてきました。そして、参観日では、これまでの学習を振り返り「どうなることがバリアフリーなのか。」ということ話し合いました。その中で施設面等のハード面の充実だけでなく、「心のバリアフリー」が充実することの大切さに気づき始めました。さらに学習を深めていきたいと思えます。

## 【ふれあい秋祭り】

2年生の「ふれあい秋まつり」で、15日は特別支援学校のお友達を招待し、16日は1年生をお招きして行いました。子どもたちが考えた的当やお化け屋敷、どろんどろんや落ち葉を使ったおもちゃ遊びなどいろいろなゲームやおもちゃのコーナーで、やり方を教えて進んで関わる姿が見られました。最後にはじゃんけん列車をしました。他校の友達同士自然に肩を置き笑顔いっぱい交流会となりました。



## 【租税教室】

最近、毎日のようにニュースでも税金の話題が出てきます。子どもたちにとっても税への関心は高まりつつあるのではないのでしょうか。今年も6年生は、「租税教室」を行いました。子どもたちは、税金がなくなったら私たちの生活がどんなに困るかについて講師の先生の話やDVDから学び、自れたいることを「税」にまわすことを知りました。税金を納めると、詳しく学ぶ機会と

## <第5回ジュニア郷土研究大会>

- 第13回地域地図発表作品展
  - 日本国際地図学会会長賞
  - 3年 近藤 晴生 ※全国展出品
  - 鳥取県地域社会研究会会長賞
  - 3年 志和 尚希
  - 鳥取県地域社会研究会会長賞
  - 5年 佐藤 悠希

- 第44回地域研究発表会
  - 鳥取県教育委員会教育長賞
  - 3年 秋里 七菜 澤 翔悟
  - 福島 颯太 常田 将貴
  - 縄田 岳史 森田 敦典

## <ようこそ書道コンクール>

- 鳥取県教育長賞 3年 足立奈 津子
- 池田市教育長賞 4年 中島 未央
- 優秀賞 3年 荒木 万弥
- 金賞 4年 石井 祐史 前原 優翔
- 銀賞 3年 山本 大貴 出田 柚理
- 岡田 こ寧
- 4年 矢野 叡
- 6年 荒木 章伍
- 銅賞 2年 中島 諒子 杉野 舞佳
- 矢野 慧
- 4年 寺谷 爽 谷口 彩容

## <MOA美術館鳥取児童作品展>

- 書写の部
  - 朝日新聞鳥取総局長賞
  - 4年 矢野 叡
  - 審査員特別賞 4年 中村 早希
  - 金賞 2年 杉野 舞佳
  - 3年 荒木 万弥
  - 銀賞 2年 矢野 慧
  - 3年 出田 柚理
  - 6年 山本 彩未
  - 2年 中島 諒子
  - 4年 石井 祐史
  - 6年 中村 珠紀

- 絵画の部
  - 金賞 4年 矢野 叡

## <エコ工作コンテスト>

- 佳作 1年 檀床彩弥香

## <オリジナルマイバッグ>

- 優秀賞 5年 縄田 隆之

## <豊かな海づくり大会>

- 絵画コンクール低学年の部
  - 鳥取県知事賞 2年 太田 来明
- 習字コンクール低学年の部
  - 鳥取県漁業協同組合代表理事組合長賞
  - 2年 杉野 舞佳
  - 6年 泉本 陽菜
- 作文コンクール低学年の部
  - 高学年の部 入選 6年 植田 望未
  - 環境大臣賞 2年 植田 望未

人の生き方に学ぶ

突然ですが、問題です。

木原 一彰

- ①姉の名前はイヌ
  - ②母の名前はシカ
  - ③黄熱病の研究で世界的に有名な人物は誰でしょう。
- あるクイズ番組でこの問題が出たそうです。みなさんはおわかりになりますか？（答えは後ほど）

本校に赴任して六年、道徳の時間に、人の生き方に学ぶ学習を進めてきました。資料文で学習するだけでは、人の生き方は見えにくいものです。モデルとなる人物の年表や様々なエピソード、名言など多くの情報をもとに、自分なりの人物像を確立したうえで、授業を行っています。ですから、最初の問題も、この人物について学習した子どもにとっては、たいへん簡単な問題なのです。

南方熊楠、福沢諭吉、田部井淳子など、この六年間でたくさんの方との出会いを積み重ねてきました。これらの人々に共通していると感じるのは、「生きる知恵」と「あきらめない勇氣」です。どんな偉人でも悩み、苦しみを経験しています。そんなとき、彼らを救ったのは、ほんの少しの「知恵と勇氣」でした。子どもたちが、今後の人生で挫折を経験したとき、偉人たちの生き方が、困難を乗り越える糧になると期待して、これからも子どもたちの心に種をまいていきたいと思えます。

最後に、最初の問題の答えは、世界の医聖、野口英世博士です。



